

登 山

1 活動のねらい

グループで山に登ることで、自然に親しむとともに、仲間意識、チャレンジ精神を高め、確かな達成感を得ることができます。



2 活動の概要（場所・時間）

山 名	標高(m)	コース	所要時間	登 山 可 能 期 間
岩手山	2,038	柳沢	約11時間	7月1日～9月中旬（2泊3日のプログラムが標準）
姫神山	1,124	一本杉	約6時間	5月下旬～体育の日
鞍掛山	897		約4時間	5月上旬～体育の日

3 指導について

(1) 事前指導

- 各団体で必ず登山の事前指導及び引率者の実地踏査を行い、コースの概要と危険箇所等の把握に努めてください。
- 岩手山の登山をする場合には、前泊が条件です。登山前日には登山者の健康状態を把握し、十分な事前指導を行ってください。

(2) 登山指導（案内）

- 指導員の依頼を希望する団体には、交流の家で手配することができます。配置のめやすは50人に1人。（岩手山登山は30人に1人）
- 指導員は、道案内と危険箇所での適切な指示を行います。登山中の全体指導については、各団体引率者が指導を行ってください。
- 交流の家と登山口間の指導員の送迎を各団体でお願いします。
- 交流の家退所後に登山を実施する場合、原則として指導員の手配は行いません。
- 当日は、指導員と登山開始1時間前に必ず交流の家で事前打ち合わせを行います。
※実際に登山される方が打ち合わせを行ってください。

(3) 指導料

支払いは、活動終了後に現金、コンビニ支払い又は銀行振り込みをしてください。

※指導員一人当たりの金額です。

山 名	指導料
岩 手 山	21,500円
姫 神 山	11,550円
鞍 掛 山	9,900円

注)岩手山登山は、小学5年生以上が対象です。また、事前に十分な体力づくりが必要となります。途中下山の児童・生徒等の対応も考慮し、十分なスタッフの引率をお願いします。

4 準備する物

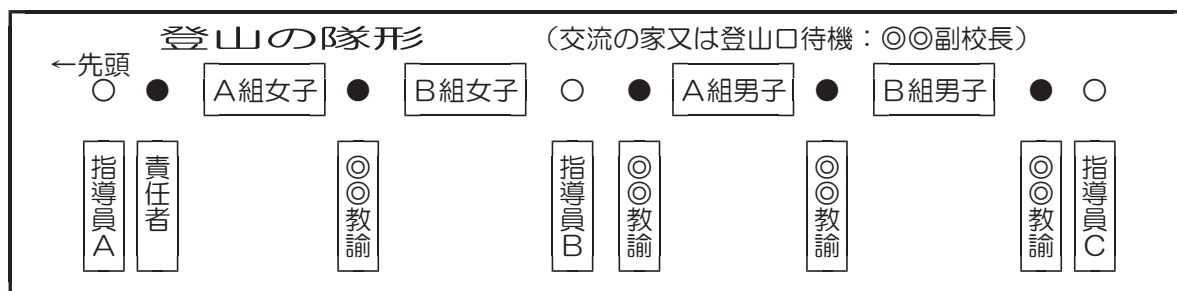
区 分	内 容	備 考
団 体	「登山計画書・報告書」「登山組織図」 緊急車両、救急用品、携帯電話（緊急連絡用）、電灯	・利用申込書と同時に提出
個 人	弁当、行動食・非常食、水筒、 リュック、活動しやすい服装（長袖、長ズボン）、 登山靴、タオル、帽子、軍手、雨具（カッパ）等 ヘッドライト（岩手山登山時は必携） ※軍手は、薄手・厚手の両方があると便利です。	・必ず準備のこと ・山別の最低必要水分量 岩手山…1,500ml 姫神山…1,000ml 鞍掛山… 500ml
貸出 できる物	ヘッドライト（60個） 熊鈴、無線機（登山指導員対応時）	・ヘッドライトの借用を希望する団体は、事前に必要個数をお知らせください。

5 引率者の役割分担と登山隊形

(1) 役割分担

係 名	役 割
代 表 責 任 者	・1名。登山実施、中止、中断等の決定を行う。
グ ル ー プ 責 任 者	・最低50人に1名。健康状態の把握等を行う。学校登山では担任が一般的。
救 急 係	・救急薬品を携帯し、応急処置を施す。
本 部 係	・1名。交流の家又は登山口に待機。途中下山者の対応や緊急車両要員。

(2) 登山隊形（例）



※引率者は先頭・中間・後尾に配置し、児童・生徒の人数や健康状態の把握につとめ、疲労した者がいる時は適切な看護を行ってください。

6 活動の流れ

利 用 前	① 事前相談	・指導員の依頼、弁当等の手配、必要書類の確認			
	② 実地踏査	・コース概要、時間配分の把握			
	③ 登山計画作成	・日程、登山隊形、役割分担の決定			
	④ 書類等提出	・登山計画書、報告書、登山組織図、指導依頼申込書			
	⑤ 団体の事前指導	・安全指導、装備確認、トレーニング			
到 着 後	① 到着時打合せ	・提出書類の確認（未提出の場合、受領） ・弁当等の受け渡し場所、時刻の確認			
	② 事前指導	・岩手山登山の場合、交流の家職員が指導			
登 山 当 日 (標準プログラム)		岩 手 山	姫 神 山	鞍 掛 山	
				午前の活動	午後の活動
	起床	5時00分	6時30分	6時30分	6時30分
	実施の判断(交流の家に連絡)	5時30分	6時30分	6時30分	6時30分
	朝食	6時00分	7時30分	7時30分	7時30分
	弁当等受け取り	6時15分	8時30分	8時30分	昼食
	指導員と打合せ	6時30分	8時30分	8時30分	12時30分
	交流の家出発(バス)	7時00分	9時00分	9時00分	13時00分
	登山口到着	7時15分	9時40分	9時20分	13時20分
	山頂到着	12時30分	12時10分	11時00分	15時20分
	下山開始	13時00分	13時00分	11時30分	15時30分
	全員下山終了	17時30分	14時30分	12時30分	16時30分
	交流の家到着	18時00分	15時20分	13時00分	17時00分
まとめ					
登山報告書の提出	18時10分	15時30分	13時10分	17時10分	
※ 登山中止の場合でも朝食時間は変更できません。					

7 実施上の留意点

- 登山実施日とその前後の活動は、ゆとりのあるプログラムを計画してください。
- 登山中は、コースの逸脱、石を蹴る、走るなど、マナーに欠けることのないよう指導してください。
- 栄養補給のために行動食を準備してください。また、**岩手山登山の場合は、非常時を想定し、ヘッドライトと非常食を準備してください。**
- 自然保護、環境保全のため、ゴミは必ず持ち帰り、植物や樹木を採取しないようにしてください。
- 気象状況により登山活動が中止になりますので、ご注意ください。（盛岡地方気象台の予報で判断）**
- 熊鈴等の紛失・破損の場合は、弁償していただきますので予めご了承ください。

○降水量が5mm/h以上 ○風速10m/s以上 ○「大雨」「暴風」「強風」「雷」の注意報・警報が出た場合
 ○24時間以内に台風の接近がある場合 ○著しく気候の変化がある場合
 ○利用者からの中止の申し入れがあった場合 *所として中止と判断した場合

(重要)

学校で登山を安全に実施するために



学校単位や学年単位で登山をすることにより、自然に親しみながら、仲間意識、チャレンジ精神を高め、確かな達成感と団結力を得ることができます。

しかしながら、事前指導・事前準備の不足や、無理な登山計画は大きな事故につながる可能性があります。

以下の注意事項を参考にいただき、安全で楽しく、充実した学校登山を実施してください。

- 1 児童・生徒の整列・点呼・準備運動・健康管理・装備の確認・ケガ等の対応については、団体の引率者が行ってください。
登山指導員は道案内・危険箇所での指示・登山継続の可否判断を行います。
- 2 引率者は必ず事前に実地踏査をしてください。
引率者自身も体力的に余裕をもち、児童・生徒の点呼・健康管理・装備等の確認をしながら登山していただきます。
【事例】
引率者のうち、登山経験のある2名が学校登山の代表責任者となり実地踏査を行ったが、当日、初めて登山を経験する先生がおり、途中で体調を崩してしまった。このために下山時間が大幅に遅れた。
- 3 事前指導を必ず行ってください。(山の特徴・行動時間・隊形・マナー・準備する物など)
特に個人の持ち物に関しては、必ず持参しているか現物を確認してください。
○けが防止のため、薄手の軍手を持たせてください。
○斜めかけカバンやナップザックではなく、リュックサックを持たせてください。
○飲料水は、お茶ではなくスポーツドリンクを持たせてください。
【事例】
学校では最低1ℓは飲料水を持ってくるように指示はしていたが、数名の生徒が500mlのペットボトル1本しか持ってこなかった。炎天下の中、登山中に全て飲みきってしまい、脱水症状が心配される状況となった。
- 4 救急用品は引率者全員が持参してください。(カットバン・消毒液・テーピング等)
【事例】
150名での学校登山において救急用品を持参していたのが、救急係の先生1名のみであった。下山中に生徒が転倒し膝をすりむいたが、隊列が長いためにすぐに対応ができなかった。
- 5 隊列の進行状況や気象状況によっては途中で下山することも考えられます。
全員で登頂することは大切ですが、日没までに下山することが、事故の確率を大幅に減らします。下山の判断は登山指導員の指示に従ってください。岩手山登山を行う場合は、ヘッドライト・懐中電灯を必ず持たせてください。
- 6 引率者は前日までの準備段階・当日の登山前の打合せの内容を必ず共有してください。
【事例】
登山前の打合せにおいて、天候不良が予想されたために途中下山も視野に入れて登山を実施することになったが、引率者間でこの情報が共有されていなかった。登山中に天候が崩れ登山指導員が下山の判断をしたが、引率者全員に周知するまでに時間を費やした。

不明な点はいつでもご相談ください。



体験の風をおこそう



国立岩手山青少年交流の家 登山担当

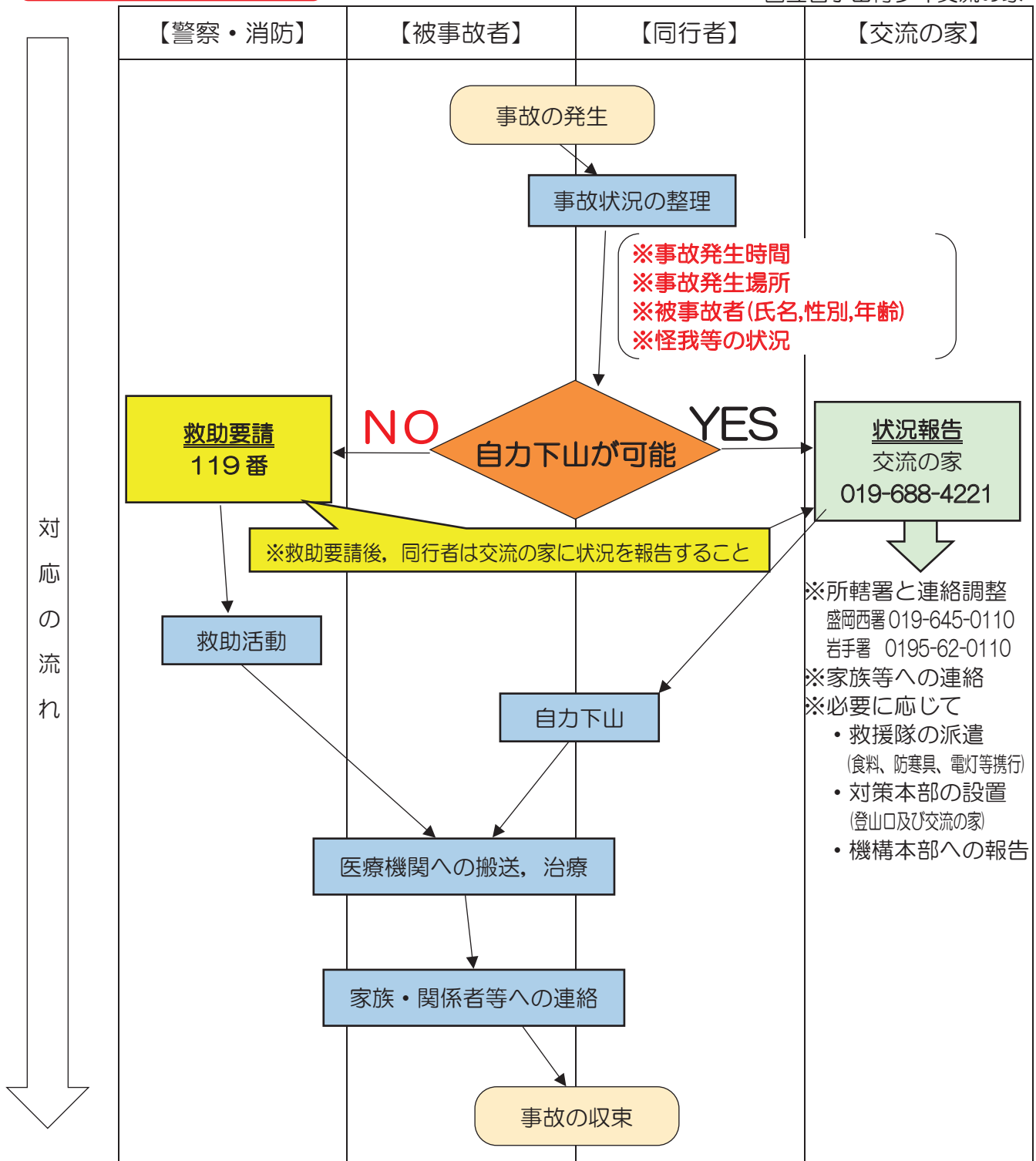
TEL 019-688-4221

FAX 019-688-5047

登山活動実施中の事故対応

「登山届」は必ず出しましょう。

国立岩手山青少年交流の家



◎119番通報した際に伝えなくてはならないこと◎

- ①第一声で「山岳事故です。」と伝える。(重要！)
- ②被事故者の情報、ケガの度合、事故発生場所等(現在地の緯度・経度・・・スマートフォン・腕時計)
- ③救助要請者の氏名と連絡先、現場との通信手段、ヘリコプターの出動が必要かどうか。

GPS機能により位置情報を得られる